

ブラジル国際交流員ナタリア通信
Olá! (オラ!)
(ポルトガル語で「こんにちは!」)

さまざまな伝統行事があります。多くの家族は、教会で24日の夜に行われる「ミサ・ド・ガロ」に参加した後みんなでクリスマスディナーを楽しめます。

クリスマス料理は地域によって違いますが、ターキー、チキン、ハム、レーズン入りご飯、ファロファ (キャッサバ粉料理)、ラバナーダ (揚げパンのお菓子)などをよく食べます。

家や町内はクリスマスツリー、イルミネーション、馬小屋の飾りで彩られます。子どもたちは25日の朝、プレゼントをもらうため、サンタクロースの訪れをすごく楽しみに待っています。

ブラジルではクリスマスは祝日で、12月25日に祝います。これはイエス・キリストの誕生を記念する、キリスト教の最も大切な行事の一つです。

クリスマスには、プレゼント交換、クリスマスツリーの飾りつけ、クリスマスディナーなど、



ブラジルのクリスマスは信仰、家族の絆、食事の分かち合い、そして文化的な祝いが一体となった特別な日なのです。

▶町内の飾りつけと母



今月のポルトガル語

- Missa do Galo (ミサ・ド・ガロ) : 夜半のミサ
- Feliz Natal (フェリス・ナターヴ) : メリークリスマス
- Papai Noel (パパーノ・ノエウ) : サンタクロース



● カセットボンベは、使用しないでください。経過したり、保管環境が適切でなかつたりすると、内部パッキンの劣化によりガス漏れする危険があります。使用の日安は製造後約7年です。

● カセットボンベは、使用しないでください。経過したり、保管環境が適切でなかつたりすると、内部パッキンの劣化によりガス漏れする危険があります。使用の日安は製造後約7年です。

【事例2】 最近ガス代が高いので、カセットコンロを使おうと思った。阪神淡路大震災の頃に購入したカセットボンベを使用したところ、ガスが漏れていて、火を噴いた。(80歳代)

【事例1】



古いカセットボンベの取り扱いに注意

● 製造年月日を確認するとともに、表示のないものや、変形さびのあるものは使わないようになります。

● 災害用に備蓄しているものは、経年に応じて使い切り、新しいものを補充しましょう。

● 空になったカセットボンベは、住んでいる自治体のルールに従って廃棄しましょう。

● ガスが残っていたり、処分方法が分からぬ場合は、製造事業者または、(一社)日本ガス石油機器工業会のカセットボンベお客様センター (0120-14-9996)へ確認しましょう。



▲イラスト：黒崎 玄

参考：(独)国民生活センター
見守り新鮮情報 第502号
困った時は、消費者生活センターにご相談ください。